

R4年度次世代プロジェクト&フェローシップ支援事業合同ガイダンス 新潟大学令和4年度
次世代プロジェクト&フェローシップ支援事業
採択者合同ガイダンス2022(令和4)年4月14日(木) 16:00~17:00
於オンライン

内容

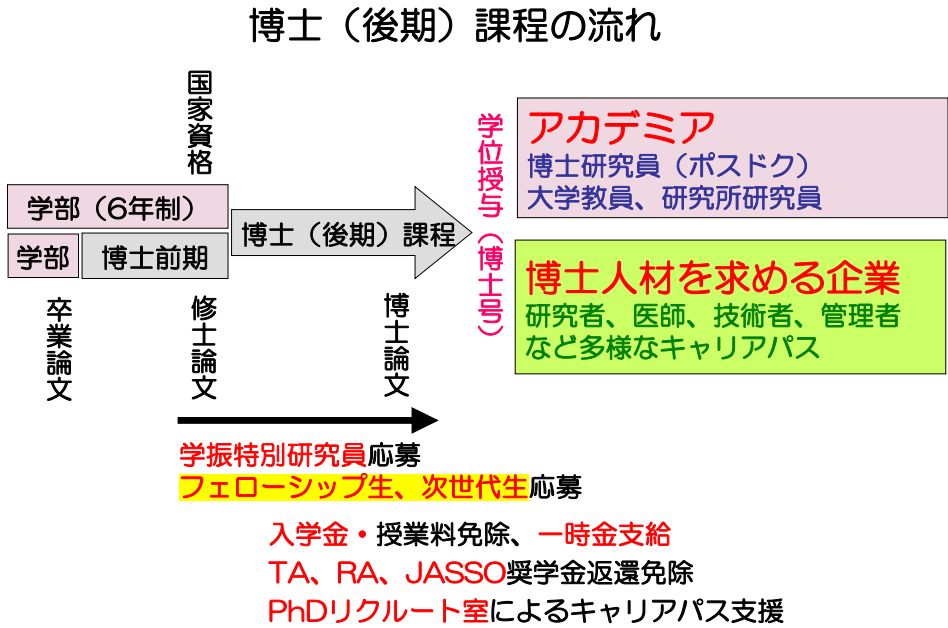
新潟大学

- (1) 本学における博士支援体制について
- (2) 次世代プロジェクト、フェローシップ支援事業について
 - ・次世代プロジェクトの概要
 - ・フェローシップ支援事業の概要
 - ・博士課程のキャリアパス構築：PhDリクルート室の取組について
- (3) 事務連絡
- (4) 今後の予定
- (5) 質疑応答

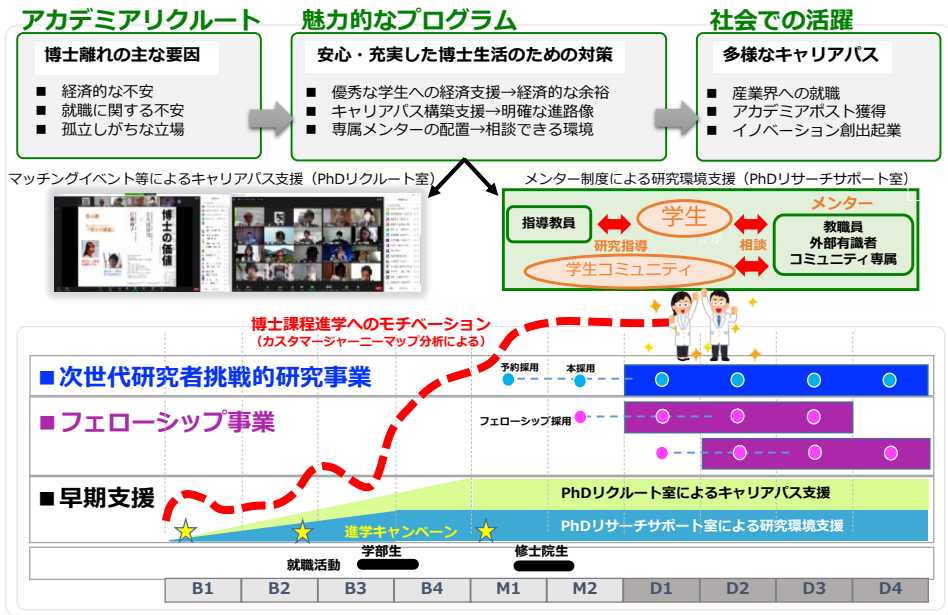


2021年度合同定例シンポジウム（年度末報告会）

博士（後期）課程の流れ 



新潟大学における博士後期課程学生のキャリアパス支援 



	<p>新潟大学フェローシップ支援事業 (科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業)</p>	<p>未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト (次世代研究者挑戦的研究プログラム)</p>						
目的	<p>学生の革新性や国際性を高め、産官学の幅広い分野で活躍できる博士人材を育成する。</p>	<p>学生の挑戦的・融合的な研究を推進し、多様な分野でイノベーションを創出できる博士人材を育成する</p>						
対象分野	<p>未来健康科学 高度医療による健康未来福祉社会 革新的情報・AI データ駆動型超スマート社会</p>	<p>全分野</p>						
研究支援	<p>当該分野の専門性の強化 英語論文作成支援 / 実践的データ分析講習等</p>	<p>異分野融合研究の推進 マルチラボシステム (学内短期留学制度)</p>						
特筆すべき支援内容・具体的な採用事例	<p>アカデミア、産業界へのキャリア形成プログラム →産業界への理解を深め、ジェネリクススキル★を獲得</p> <table border="1"> <tr> <td>現代社会文化研究科 (健康科学) 運動学 健康経営★ マネジメントカ</td> <td>自然科学研究科 (フィールド科学) 気象学 統計スキル★ 企画・運営力</td> <td>歯学総合研究科 (医学) 皮膚科学 分析力★ リーダーシップ</td> </tr> </table>	現代社会文化研究科 (健康科学) 運動学 健康経営★ マネジメントカ	自然科学研究科 (フィールド科学) 気象学 統計スキル★ 企画・運営力	歯学総合研究科 (医学) 皮膚科学 分析力★ リーダーシップ	<p>メンター制による協働研究支援 →研究への理解を深め、アカデミックスキル★を獲得</p> <table border="1"> <tr> <td>現代社会文化研究科 (法学) 環境法 工学系 省エネルギー</td> <td>自然科学研究科 (フィールド科学) 気象学 農林土木 砂防ダム</td> <td>歯学総合研究科 (医学) 生活習慣病 人工知能 ビッグデータ</td> </tr> </table>	現代社会文化研究科 (法学) 環境法 工学系 省エネルギー	自然科学研究科 (フィールド科学) 気象学 農林土木 砂防ダム	歯学総合研究科 (医学) 生活習慣病 人工知能 ビッグデータ
現代社会文化研究科 (健康科学) 運動学 健康経営★ マネジメントカ	自然科学研究科 (フィールド科学) 気象学 統計スキル★ 企画・運営力	歯学総合研究科 (医学) 皮膚科学 分析力★ リーダーシップ						
現代社会文化研究科 (法学) 環境法 工学系 省エネルギー	自然科学研究科 (フィールド科学) 気象学 農林土木 砂防ダム	歯学総合研究科 (医学) 生活習慣病 人工知能 ビッグデータ						
支援の体制や内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>ポイント! PhDリクルート室 企業視点の自己PRの方法・視点を獲得!</p> <p>特長 独自のキャリア支援 産業界を中心とする社会の様々な場で活躍するため、研究力向上とキャリア支援のプログラムへの参加が必須 ▶キャリア支援プログラムへの参加時期 支援期間内に各自で設定</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;"> <p>支援対象者 (新規採用は年間14名)</p> <p>生活費相当額 15万円/月 研究費 20万円/年</p> <p>意見交換 相談 学生コミュニティ メンター ・教職員 ・外部有識者 ・コミュニティ専属</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>ポイント! PhDリサーチサポート室 自身の専門分野から異分野への応用視点を獲得!</p> <p>特長 マルチラボシステム 分野横断、融合、挑戦的研究を促進するため新規ラボでの研究を推奨* * 既に共同研究実施中のラボも可、適切なラボがない場合は学外も可 ▶学内留学先での研究従事期間 各学年で基本3か月以上</p> </div> </div> <p>全学で年間最大 42名 (新規採用は年間14名) 全学で年間最大 50名 (新規採用は年間15名)</p> <p>生活費相当額 15万円/月 研究費 40万円/年</p>							
(六花 Vol.39)								

支援学生数

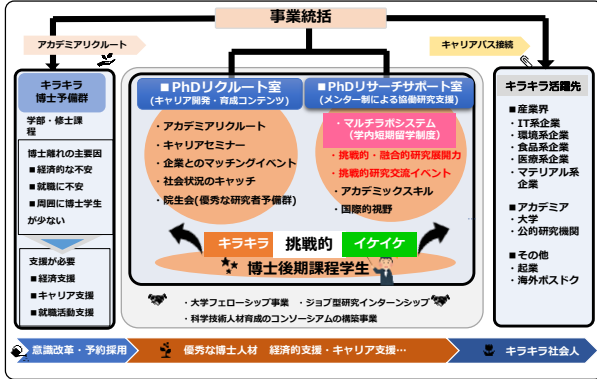
学年	フェローシップ支援事業	次世代プロジェクト
D4	-	1人
D3	4人	15人
D2	14人	13人
D1	9人	16人
M2 (R5予約採用)	-	3人
(R4.4.1時点)		

2021年度合同定例シンポジウム (年度末報告会)

【新潟大学】次世代研究者挑戦的研究プログラム



未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト



全分野を対象に 異分野融合研究の推進

▶ マルチラボシステム (学内短期留学制度)

メンター制による 協働研究支援

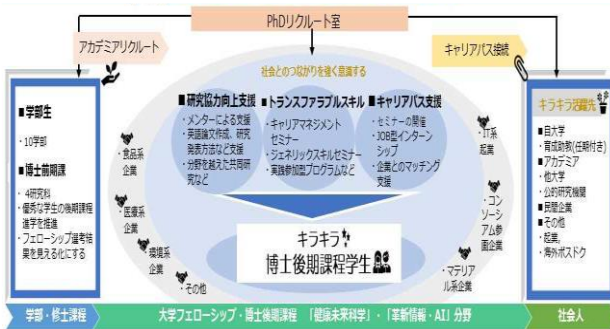
▶ 研究への理解を深め、アカデミックスキルを獲得

- 産業界で活躍する博士人材育成の強化
- 支給金額年220万円 (研究奨励費180万円、研究費40万円)
- 3年間 (医歯系は4年間) 支援
- 全学で年間50名 (D1~D3は各15名、D4は5名)

【新潟大学】科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業



新潟大学フェローシップ事業



未来健康科学分野、革新的情報・AI分野 2分野の専門性を強化

▶ 英語論文作成支援、実践的データ分析講習等

アカデミア、産業界への キャリア形成プログラム

▶ 産業界への理解を深め、ジェネリックスキルを獲得

- 産業界で活躍する博士人材育成の強化
- 支給金額200万円 (研究専念支援金180万円、研究費20万円)
- 3年間支援 (D1~D3、医歯系はD2~D4)
- 全学で年間14名 (未来健康科学分野7名、情報・AI分野7名)

新潟大学でこれから育成する博士人材像



地域の活性化・再生化を牽引する優秀な博士人材育成

新潟大学博士後期課程活性化プロジェクト（仮称）

キャリア開発・育成コンテンツ

PhDリサーチサポート室

PhDリクルート室

国際レベルの
新規性の高い

自身の研究の
学際性を高める

未来社会の変革を
創り出す

専門研究力

挑戦力・融合力

展開力・人間力

マルチラボシステム

キャリアパス多様化支援

コアコンピテンシー育成

イノベーション創出力

産学官の多様な分野で
活躍する博士人材



担当教職員：次世代プロジェクト

次世代 新潟大学



PhDリクルート室
特任教授
樋口 直樹

副学長
PhDリクルート室長
本田 明治

自然科学研究科副研究科長
自然科学系・教授
飯島 淳彦

人文社会科学系・教授
村山 敏夫

新潟大学次世代プロジェクト支援対象者募集要項（抜粋）

次世代



申請条件 2. 次に掲げる事項を遵守できる者とする。

- (1) 研究計画を踏まえた研究活動に専念すること。
- (2) 博士後期課程学生プロジェクト※3に参加すること。
- (3) 博士後期課程学生交流会※4に参加すること。
- (4) 研究の進捗状況を確認するため、毎年度末に研究報告書を提出すること。
- (5) メンターによる面談を定期的に受けること。
- (6) 修了後のキャリアに関する追跡調査を始め、各種調査に協力すること。

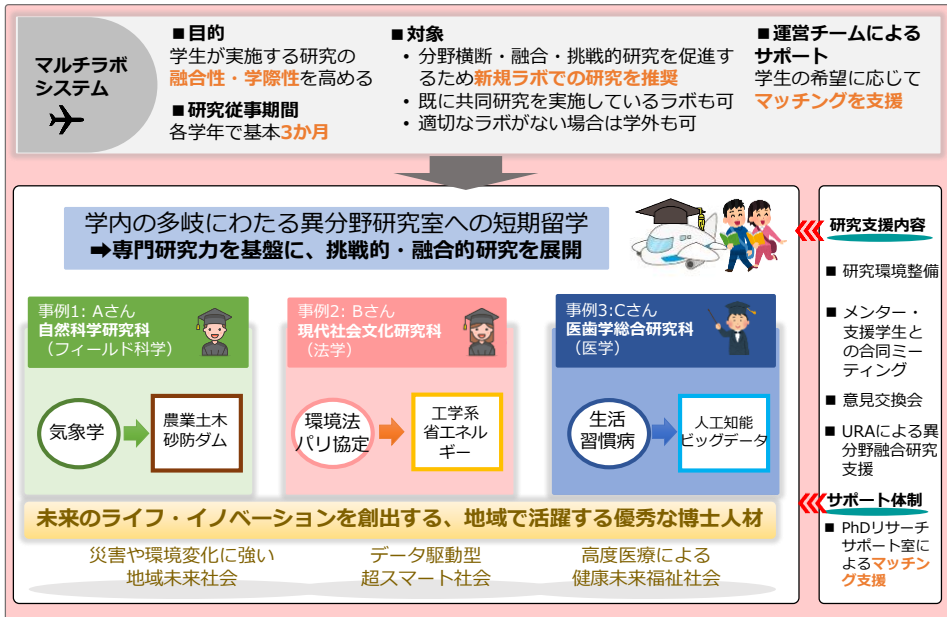


挑戦的・融合的研究展開力支援

次世代



マルチラボシステム（学内短期留学制度）



研究環境支援 PhDリサーチサポート室

次世代

フェロー
シップ

新潟大学

PhDリサーチサポート室の役割

次世代プロジェクト&フェローシップ支援事業共通

- ①学生の総合的研究支援
 - ・論文作成支援, 研究スキル向上
 - ・外部競争資金獲得のために～URAとの連携による情報の整理とスキルの向上～
- ②学生コミュニティ形成
 - ・研究に関わる社会の動向や大学の情報をいち早く共有して研究生活の充実を図る
 - ・学生支援制度などの情報提供
- ③分野横断融合的研究機会構築
 - ・教職員交流の促進と同時に展開する院生と教職員交流
 - ・学内外のトップ研究者との意見交換の場面設定

■マルチラボ

学内短期留学制度の助言と支援

学内留学期間中の悩み事相談窓口

様々な意見を反映しながら運営体制を整備する→教職員と院生による共創型ラボ

■メンター制度

院生の研究環境支援

国際学会発表のための情報提供と支援→各分野トップの学内外研究者による支援

一人一人の特性に合わせた支援体制の整備



丁寧な支援と大胆な発想に対する後押しで院生の研究力を高める

その他の支援

次世代

新潟大学

次世代プロジェクトにおけるその他の支援制度

◎2022年度継続実施（支援金額上限目安：変更になる場合もあります）

- ・基本研究費支援（40万円）
（希望による増額10万円）
- ・海外開催の国際学会、海外調査等渡航費補助（15万円）
- ・海外短期留学旅費（30万円）
- ・国際的学術誌の論文投稿料補助（10万円）
- ・自身の研究の補助者への謝金（10万円）
- ・マルチラボシステム受け入れラボへ支援（10万円）

◎2022年度新規実施予定（検討中のものも含む）

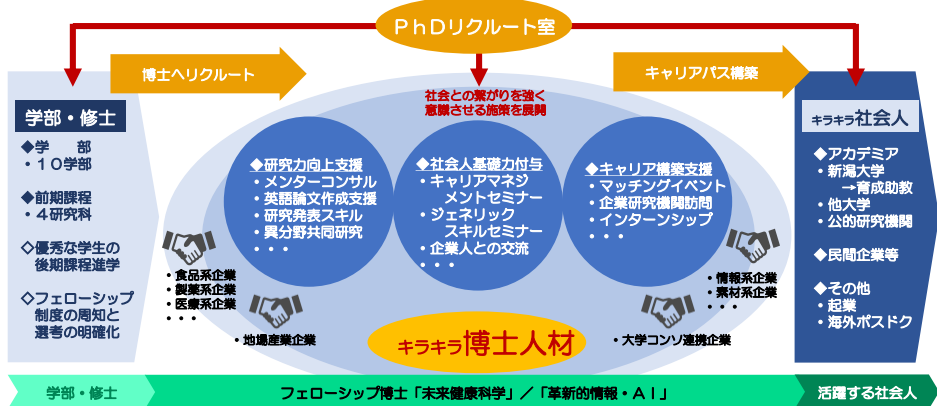
- ・マルチラボシステムグラント制度
- ・キャリア開発・育成コンテンツイベント参加旅費等補助
- ・JST主催博士後期課程学生交流会参加費補助
- ・トランスファラブルスキル習得支援
アカデミックライティングセミナー
（6月より開講予定、フェローシップ生も受講可、後述）
- 異分野交流イベント等

【新潟大学】科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業 

新潟大学フェローシップ事業

フェローシップ

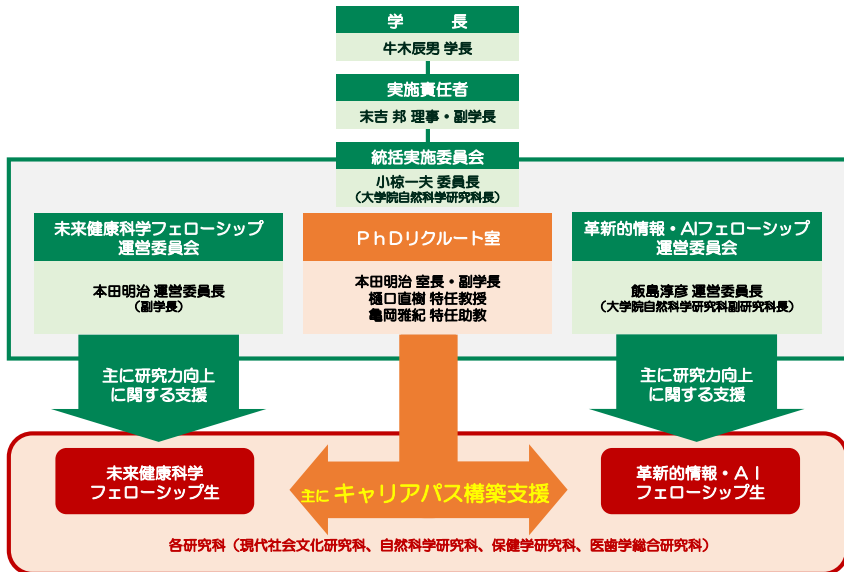
本事業はフェローシップを全学的に制度化し、優秀な博士学生にフェローシップを支給するとともに、「PhDリクルート室」が核となり、産業界や地域社会と連携しながら学生の研究力向上とキャリアパスの構築支援を一体的に行う。また、学部や修士課程の大学院生に、博士課程への進学を意識させるアカデミアリクルートのための魅力的な学位プログラムの構築も推進する。



新潟大学フェローシップ事業体制図

フェローシップ





【事務担当】 学務部大学院支援課 (フェローシップ事務局) fellowship@gs.niigata-u.ac.jp

担当教職員：フェローシップ支援事業

フェローシップ 新潟大学



理事・副学長
末吉 邦



自然科学研究科研究科長
小椋 一夫



PhDリクルート室
特任教授
樋口 直樹



副学長
PhDリクルート室長
本田 明治



自然科学研究科副研究科長
自然科学系・教授
飯島 淳彦



PhDリクルート室
特任助教
亀岡 雅紀

17

新潟大学フェローシップ支援対象者募集要項（抜粋）

フェローシップ 新潟大学

申請条件3. 次に掲げる事項を遵守できる者とする。

- (1) 研究計画を踏まえた研究活動に専念すること。
- (2) 採用後に本学リサーチ・アシスタント（RA）に申請すること。
- (3) キャリアパス形成に関する指定された授業等（企業等との交流会、各種セミナー等を含む）を履修すること。
- (4) 本学が実施する研究力向上等に関するプログラムに参加すること。
- (5) 研究の進捗状況を確認するため、毎年度末に研究成果報告書を提出すること。
- (6) メンターによる面談を半年に1度程度受けること。



メンター面談の様子



研究力向上・キャリアパス支援に関する取り組み（分野別）

フェロー
シップ

新潟大学

未来健康科学（ボトムアップ型）

本学が社会の要請に応じた研究力強化・大学院強化の重点分野として設定する文理融合型「未来健康科学」領域において、次世代の社会のリーダーとしてアカデミアのみならず医療機関、創薬、食品、環境、官公庁などの幅広い産業界で活躍する優れた人材を育成する。

1. 英語論文作成能力、国際学会発表能力、国際交流能力向上への支援
2. 食品系・医療系・環境系企業との連携・共同研究の推進
3. 海外連携大学との国際交流の推進（G-DORMなど）
4. 学内分野横断型研究推進イベント「U-goサロン」の参加発表への支援1回/1年（毎年参加）

研究力向上・キャリアパス支援に関する取り組み（分野別）

フェロー
シップ

新潟大学

情報・AI（分野指定型）

本学が社会の要請に応じた研究力強化・大学院強化の重点分野として設定する文理融合型「革新的情報・AI」領域において、次世代の社会のリーダーとしてアカデミアのみならずIT、情報、マテリアル、医療機器、官公庁などの幅広い産業界で活躍する優れた人材を育成する。

1. 英語論文作成能力、国際学会発表能力、実践的データ分析スキル向上への支援
2. IT系・データサイエンス系・マテリアル系・医療機器系企業との連携・共同研究の推進
3. 学内分野横断型研究推進イベント「U-goサロン」の参加発表支援（毎年参加）
4. BDAセンターのイベント（毎年1回）他、学内各種セミナーへの参加

実施計画における課題と対応方法（両分野共通）

フェロー
シップ

新潟大学

1. 研究進捗状況の確認

年度当初に提出する研究計画書（研究計画、フェローシップ活動計画、修了後のキャリアパスの予定）に基づいて、メンターによる面談を通じて活動状況を確認する。また年度末に提出する研究報告書及びシンポジウム等により、年度単位で審査を実施する。

2. 分野間交流・分野横断研究推進

メンターとの合同ミーティング、フェローシップ生の意見交換会、PhDリクルート室実施プログラムやU-goサロン等への積極的参加を通じて、分野間交流・分野横断研究を積極的に推進する。

3. キャリアパス形成支援

産業界志向とアカデミックポスト志向の両方のメンターを設定し、1年次には両者との面談を、2年次からは対象学生の希望によりどちらかの又は両方の面談を受け、キャリア形成の助けとする。



セミナー案内

次世代

フェロー
シップ

新潟大学

次世代プロジェクト&フェローシップ支援事業共通

博士課程学生向け英語論文ライティング講座 (上級編、基礎編同時受講可)

	上級編・テクニカルライティング	基礎編・アカデミックライティング
授業担当	外部講師 ヒューマングローバルコミュニケーションズ(株)	島亜紀 新潟大学アカデミックライティング教員
実施言語	英語	日本語
受講対象	TOEIC600点程度の英語力がある学生が望ましい	論文の書き方を日本語で学びたい学生
定員	15名～20名	15名
内容	<ul style="list-style-type: none"> IMRAD方式での技術論文の書き方 Abstractの書き方 	<ul style="list-style-type: none"> IMRAD方式を基本 Abstractの書き方やアカデミックスキル 日本語での論文執筆→英語論文への変換法習得
期間	4ヶ月間（6～9月開講予定） <ul style="list-style-type: none"> テキストでの自己学習と課題提出（6回） 対面クラス（6回） 	4ヶ月間（未定、上級編と並行開講予定） <ul style="list-style-type: none"> 対面クラス（講義と演習）（1回3時間・月1回） 課題提出とフィードバック 英文添削（希望者）

セミナー案内

次世代

フェロー
シップ

新潟大学

次世代プロジェクト&フェローシップ支援事業共通

基礎編・内容

	クラスタイトル	次回までの課題
1	論文とは何か、論文の構成、 リサーチプロポーザル（研究計画書）の書き方	リサーチプロポーザル
2	パラグラフライティングの方法	パラグラフライティング演習課題
3	学術文献の読み方、引用・要約法、参考文献の記載法、先行研究のまとめ方	先行研究のまとめ
4	Introductionの構成要素と書き方、英語表現（先行研究のまとめ）	Introductionの原稿
5	Methodsの構成要素と書き方、英語表現（Introduction）	Methodsの原稿
6	Resultsの構成要素と書き方、英語表現（Methods）	Resultsの原稿
7	Discussionの構成要素と書き方、英語表現（Results）	Discussionの原稿
8	英語表現（Discussion）、論文全体の校正法、Abstractの書き方	

セミナー案内

次世代

フェロー
シップ

新潟大学

次世代プロジェクト&フェローシップ支援事業共通

2022年度 博士課程学生向けスキルアップ講座

テクニカルライティング 英語論文の書き方・構成 コース ※申請締切 4月末予定
 Technical Writing Training - how to write and structure a research paper-

基礎・応用研究で得た成果を発表するための、研究論文の書き方と構成の仕方を中心に学習します（*IMRAD方式やAbstractなど）。意図することを確かかつ明確に表現する方法を学びます。

*IMRAD：Introduction, Methods, Results And Discussion

メイン対象者：論文作成にあたり、論文の構成の仕方を学習したい方

期間：4ヶ月（6～9月）全6レッスン 6課題付き

時間帯：仮16:00～19:00

オンライン開講（英語で講義）

形式：通信講座（自己学習と課題）とクラスの併用

No.	レッスンタイトル（自己学習）	課題提出	レッスンタイトル（クラス）	実施日
1	技術論文の構成	1週目	技術論文の構成	2週目
2	Introductionの書き方	4週目	Introductionの書き方	5週目
3	MaterialsとMethodsの書き方	7週目	MaterialsとMethodsの書き方	8週目
4	ResultsとDiscussionの書き方	10週目	ResultsとDiscussionの書き方	11週目
5	論文の終え方	13週目	論文の終え方	14週目
6	Abstractの書き方	16週目	Abstractの書き方	17週目

Organized by Human Global Communications

セミナー案内

次世代

フェロー
シップ

新潟大学

次世代プロジェクト&フェローシップ支援事業共通

テクニカルライティング 英語論文の書き方・構成 コース *Application deadline: End of Apr
Technical Writing Training - how to write and structure a research paper-

This course focuses on how to write and structure a research paper to present the results obtained from basic and applied research (IMRAD method, Abstract, etc.). Students will learn how to express their intentions accurately and clearly.

*IMRAD : Introduction, Methods, Results And Discussion

Main target: Those who want to learn how to structure a paper for writing

Period: 4 months (June-September) 6 lessons with 6 assignments
 Time: 16:00~19:00(Temporary)

Online Courses (In English)

Format: Blended learning with self-study materials and class

No.	Self-study and Assignments	Submit date	Class	Class date
1	Organization of Technical Papers	Week 1	Organization of Technical Papers	Week 2
2	Writing the Introduction	Week 4	Writing the Introduction	Week 5
3	Writing the Materials and Methods Section	Week 7	Writing the Materials and Methods Section	Week 8
4	Writing the Results and Discussion Sections	Week 10	Writing the Results and Discussion Sections	Week 11
5	Ending the Paper	Week 13	Ending the Paper	Week 14
6	Writing the Abstract	Week 16	Writing the Abstract	Week 17

Organized by Human Global Communications

新潟大学PhDリクルート室 (2020.4~)

新潟大学

新潟大学PhDリクルート室

アクセス | ENGLISH | 検索

[PhDリクルート室について](#) | [ニュース&イベント](#) | [博士研究員・大学院生の方へ](#) | [活動報告](#) | [お問い合わせ](#)

キャリア相談随時受付中!

エントリーシート
の添削してほしい

この専門で民間企業に
就職できますか?

インターンシップに
いきますか?



お任せください!

出稼の練習
をしたいの
ですが..

博士進学と就職
迷っています..

キャリア相談随時受付中

詳しく見る →

ミッション

博士人材の出口戦略構築!
 キャリアパス多様化支援!
 優秀な修士を博士へ誘う!

担当教職員：PhDリクルート室



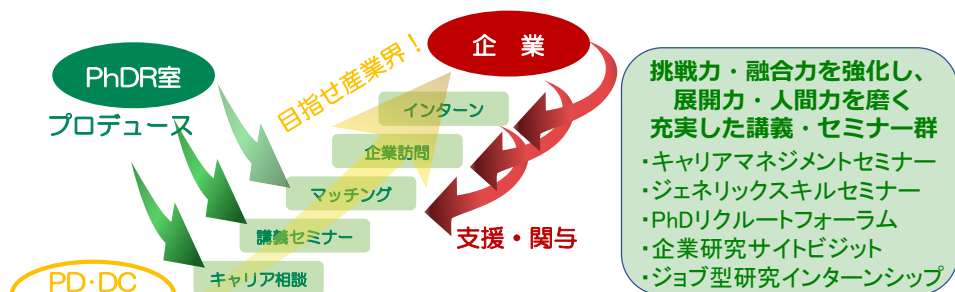
PhDリクルート室
事務補佐員
篠田 亜希子

PhDリクルート室
特任助教
亀岡 雅紀

PhDリクルート室長
副学長、自然科学系・教授
本田 明治

PhDリクルート室
特任教授
樋口 直樹

PhDリクルート室 キャリアパス多様化支援の体制



- ① 【キャリア相談窓口】：博士人材に特化したキャリアコンサル実施
博士人材に対する産業界でのキャリア形成を支援するための相談窓口
- ② 【講義・セミナー】：企業を知るための情報収集としてセミナー
産業界とはどんなところか、アカデミアと何が違うのか情報提供する
- ③ 【マッチングイベント】：企業と直接面談し情報交流して企業を知る
企業研究者や人事等と直接交流し、自身の適性や企業のニーズを知る
- ④ 【企業訪問プレゼン】：実際の企業活動の現場を見て企業人と交流
企業活動の現場を見、企業人と交流することで業務のイメージを体感
- ⑤ 【インターンシップ】：企業実務を経験することで企業適性を知る
実際に企業業務を一定期間実施して企業を体験することで意識を改革

PhDリクルート室の実績：キャリア育成コンテンツ 

2022年度 新潟大学 PhDリクルート室
キャリアマネジメントセミナー

新潟大学 自然科学研究科課程共通科目 (2単位) ※他研究科は選択科目
開講番号 [博士/博士前期] 220F5301 [博士/博士後期] 220F5321
開講日時 金曜4限目 (14:40-16:10)
受講方法 対面及びZoom ※対面：総合教育棟 E260 (予定)

順	日にち	内容	講師
1	4月8日	企業の種類と分析	新潟大学 PhDリクルート室 樋口 直樹
2	4月15日	イノベーション	三菱ケミカル 宗像 基浩
3	4月22日	アントレプレナーシップ	シーレイザー 山下 良一
4	5月6日	新ビジネス創出事例	富山大学 東田 千尋
5	5月13日	コミュニケーション	ライフエスティム研究所 福所 しのぶ
6	5月20日	リーダーシップ	大日本住友製薬 板倉 朋宏
7	5月27日	技術と事業① (素材分野)	昭和電工 淵野 康壽
8	6月3日	プレゼンテーション	物質・材料研究機構 (NIMS) 小林 隆司
9	6月10日	知的財産マネジメント	サントリーホールディングス 藤村 朋子
10	6月17日	企業の事業戦略	日本電気 (NEC) 貞廣 滋
11	6月24日	技術と事業② (建設分野)	東急建設 井上 諭
12	7月8日	技術と事業③ (化粧品分野)	ポーラ化成工業 東延 朋子
13	7月15日	技術と事業④ (精密機器分野)	オリンパス 高宮 裕児
14	7月22日	技術と事業⑤ (医療分野)	NOMON (※人) 山名 慶
15	7月29日	技術と事業⑥ (素材分野)	トクヤマ 佐藤 美樹代

※本講義は、文部科学省「科学技術イノベーション戦略に向けた大学フェロシティブイタリティ」の取組を受けています。
主催：新潟大学PhDリクルート室 協賛：新潟大学国際キャリアセンター
共催：新潟大学キャリアセンター 後援：新潟大学国際キャリアセンター
〒951-8510 新潟県新潟市中央区西通 新潟大学国際キャリアセンター

2022年度 キャリアマネジメントセミナー

自然科学研究科課程共通科目
金曜4限



PhDリクルート室の実績：キャリア育成コンテンツ 

2022年度 **ジェネリックスキルセミナー**
6月8日 (水) 交渉学
6月29日 (水) プロジェクトファシリテーション
7月6日 (水) ビジネスマナー基礎編

博士(後期)課程共通科目 220F5322 博士のキャリア開発の実践
2022年度 新潟大学ジェネリックスキルセミナー



交渉学

講師 隅田 浩司氏

戦略的交渉力：しなやかな「対話」力を身につける

専門は、総論法、国際経済法、交渉学(対話学)、東京大学先端科学技術研究センター-MOIT(技術情報)プログラム開発推進、新潟大学先端科学技術研究センター-特任研究員、大宮法科大学院大学非常勤講師等を歴任。明治、金沢工業大学他、門下生院等を経て、日本経済総合グループフェーズプログラム開発及び、産学協同支援コンサルタントなどを兼任。著書として「プロジェクトマネージャーの戦略交渉術」(日本経済出版社)、「ビジネス交渉、交渉入門」(日本経済新聞出版社、共著)、「戦略的交渉入門」(日経文庫、共著)、その他、総論法、交渉学関係論文など。

博士(後期)課程共通科目 220F5322 博士のキャリア開発の実践
2022年度 新潟大学ジェネリックスキルセミナー



プロジェクトファシリテーション

講師 関 尚弘氏

企業における業務推進の実際

古河電気工業株式会社

昭和末期 ICT戦略企画部長 年度
IPR・プロジェクトファシリテーションプロフェッショナル
東京河電工業システムズライフサポート 人事総務センター
シニアアクティビスト

1989年北海道大学文学部卒業後、古河電気工業入社。
工場での生産管理課、情報システム部、採用課長、経営企画室主任室、子会社の代表取締役社長を経て、2020年古河電工の業務改革プロフェッショナルとして現場に復帰。

博士(後期)課程共通科目 220F5322 博士のキャリア開発の実践
2022年度 新潟大学ジェネリックスキルセミナー



ビジネスマナー基礎編

講師 高原 温子氏

社会人としての振舞いの基本

ANAビジネスソリューションズ 人材育成コンサルタント

ANA(全日本空運株式会社)の客室乗務員として国内線、国際線に務め、ホスピタリティ溢れるサービスでお客様から高い評価を得ると共に、優れたコミュニケーション力でも知られた人材育成、総務運営、社内イベントなどで活躍。退職後2007年より研修講師として活動し、受講者は年間1000名を超える。講師の経験と知識を元にした入塾した塾生は日々、参加者との交流を大切にしながら研修で活躍を得る。

PhDリクルート室の実績：PhDリクルートフォーラム 

2021 @新潟大学 博士人材と企業とのマッチングイベント

10/15 (Fri) 13:30-17:00
オンライン開催

参加企業 全17社！

加化産 アステラス製薬 大塚製薬 森田製薬
原セラ グローバルウェア・ジャパン
コセー 富士通 金澤製作所 住友化学
ダイヤル 大日本住友製薬 テーダフォーシーズ
ダンスデータサイエンス エンジンパワリング
東足 ナミックス リハナス

新潟の地域企業も参加！

提携 研究所見学
インターンシップ などまで
出逢いのチャンスです！

2022年度

9月20日 (火)
第5回

12月2日 (金)
第6回



PhD リクルートフォーラム #3

2021 @新潟大学 博士人材と企業とのマッチングイベント

12/10 (Fri) 10:00-20:00
対面開催

参加企業 全14社！

アルビオン 神井製菓所 クラシエ製菓
三菱ガス化学 ロート製薬 サントリー
三菱電機 同仁産業化工 東島建設
みずほ第一フィナンシャルテクノロジー
リコー 日本入試センター 新潟日報社
グローバルウェア・ジャパン

提携 研究所見学
インターンシップ などまで
出逢いのチャンスです！

PhD リクルートフォーラム #4

2021 @新潟大学 博士人材と企業とのマッチングイベント

12/10 (Fri) 10:00-20:00
対面開催

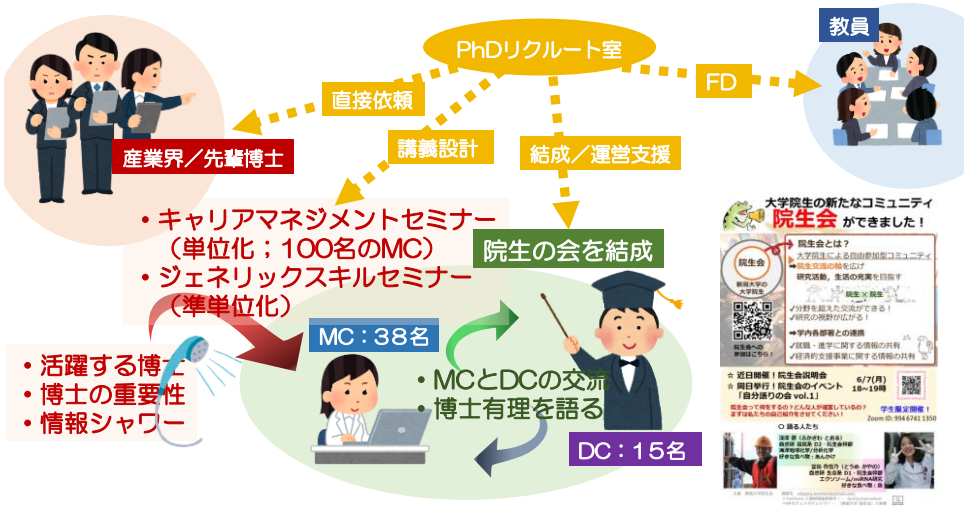
参加企業 全14社！

アルビオン 神井製菓所 クラシエ製菓
三菱ガス化学 ロート製薬 サントリー
三菱電機 同仁産業化工 東島建設
みずほ第一フィナンシャルテクノロジー
リコー 日本入試センター 新潟日報社
グローバルウェア・ジャパン

提携 研究所見学
インターンシップ などまで
出逢いのチャンスです！




優秀な学生を博士後期課程（ドクターコース）進学に振り向かせるために… 



担当教職員：大学院支援係



皆さんの安心安全な研究&生活をサポートします！



学務部教務課大学院支援係

33

事務連絡



PhDリクルート室HPへの掲載について

- ・所属
- ・氏名
- ・研究分野
- ・指導教員名
- ・リンク先 等

フェローシップ支援
フェローシップ生の活躍

(例)

第一期生～2021年度採択者～
ボトムアップ型：未来健康科学高度人材育成

現代社会文化研究科 共生文化研究専攻
LIN Yin
研究分野 江原 冬生
リンク先

自然科学研究科 環境科学専攻
YIN Liangjun
研究分野 都市計画
指導教員 松村 大輔
リンク先

医学学総合研究科 口腔生命科学専攻
笹川 花梨
研究分野 歯周診断・再建学、微生物感染症学
指導教員 寺尾 晋
リンク先
〒 新潟大学 医学学総合研究科 歯周生物感染症学専攻
〒 新潟大学 医学学総合研究科 口腔生物材料学専攻
〒 新潟大学 医学学総合研究科 口腔生命科学専攻
その他 [資格] 歯科医師免許

医学学総合研究科 口腔生命科学専攻
歯科歯科学分野
沢田 詠見
研究分野 歯科歯科学、神経科学
指導教員 藤尾 重司
リンク先
その他 [趣味] 旅行、温泉巡り、食語り

医学学総合研究科 口腔生命科学専攻
田中 梓
研究分野 予防歯科学
指導教員 小川 祐司
リンク先
〒 新潟大学 医学学総合研究科 歯周生物感染症学専攻

医学学総合研究科 口腔生命科学専攻
中嶋 優太
研究分野 歯周病下リハビリテーション学
指導教員 井上 誠
リンク先
〒 新潟大学 医学学総合研究科 歯周生物感染症学専攻 歯周病下リハビリテーション学

事務連絡



- ・研究奨励費(次世代プロジェクト)／研究専念支援金(フェローシップ支援事業)
- ・研究費

} について

1. 概要

- 当該助成金は交付の目的以外に使用できないほか、交付要綱等を遵守する必要があります。
- 実際の経費執行に当たっては、交付要綱や新潟大学会計ハンドブック等に基づき適切に使用してください。
- 支援対象学生には修了まで
 - 次世代プロジェクト 研究奨励費（生活費相当額）・研究費
 - フェローシップ支援事業 研究専念支援金（生活費相当額）・研究費
 が支給されます。

ただし、在学期間が3年間（4年制の場合は4年間）を超える場合は、以降の期間は支援対象外となります。

事務連絡



2. 研究奨励費(次世代プロジェクト)／研究専念支援金(フェローシップ支援事業)

共通

- 月額15万円を2か月毎に支給します。支給日は、原則奇数月の第4金曜日です。
* 受給資格を得た日以前、また取りやめ以降分の支給は行いません。すでに支給されている場合は返還の義務があります。
- 用途についての制限はなく、未使用分については返還の対象になりませんが、適切に使用してください。
- 自己都合により休学した場合は、受給資格を喪失する場合があります。
- 以下に該当する方は重複受給はできません。

独立行政法人日本学術振興会（DC）採択者／国費外国人留学生制度の支援対象者／
本国からの奨学金などの支援を受けている留学生

フェローシップ支援事業のみ

- 「新潟大学大学院博士課程就学奨学金」ほか、専攻で設けている独自の奨学金制度等（入学一時金を除く。）による支援を受けている場合、該当奨学金の額を減じた額を支給します。
- 研究専念支援金の一部をリサーチ・アシスタント（RA）研究奨励費として支給する場合があります。

事務手続きについて

- 提出書類 ①振込口座登録・変更依頼書
②通帳の写し（口座情報がわかるページ）
- 提出方法 メール添付により提出
- 提出期限 4月22日（金）17時
- 提出先 次世代研究者挑戦的研究プログラム事務局
nu-jisedai@gs.niigata-u.ac.jp
フェローシップ事務局
fellowship@gs.niigata-u.ac.jp

事務連絡



3. 研究費

- 研究活動支援のため、下記の通り予算配分します。

次世代プロジェクト…年額40万円

フェローシップ…年額20万円

*事務局において研究計画書の研究費使用計画を確認後、
執行可能の連絡をします。

<使用の例>

物品：ハードディスク、試薬、実験用動物、研究に関連する書籍等
旅費：研究打合せ、研究成果発表等
その他：学会参加費、論文投稿料
(支出可能な投稿・掲載先には制限があります)

- 研究費は、令和5年2月末日までに予算執行を概ね終了するように、早期の執行に努めてください。

*年度末に消耗品を大量購入することは「予算消化のための購入」としてみなされる場合があります。計画的な経費の執行に努めてください。

- 未使用分については返還していただきます。
- その他、使用に際し疑義が生じた場合は、発注前に各事務局、または所属する研究科の会計担当係に問い合わせてください。

**公正かつ効率的な使用に努め、可能な限り研究計画書に従って使用してください。
使用に当たっては、必ず新潟大学会計ハンドブックを参照してください。**

事務連絡



4. Q&A

Q1 支援対象学生は、扶養義務者（親等）の扶養から外れる必要がありますか？

A1 研究奨励費／研究専念支援金（生活費相当額）は、税法上雑所得として扱われていること等を扶養義務者（親等）に伝え、健康保険や扶養手当等における扶養の扱いについては、扶養義務者（親等）の職場等の担当者へ問い合わせてください。所得税における扶養の扱いについては、お近くの税務署へ問い合わせてください。

Q2 支援対象学生の社会保険、年金の扱いはどうなりますか？

A2 支援対象学生と大学間に雇用関係はありませんので、必要があれば各自がお住いの市区町村で社会保険、年金への加入手続きを行ってください。
手続きのために大学からの証明書等が必要な場合は、各事務局へ発行を依頼してください。

Q3 研究奨励費（生活費相当額）は所得税、住民税の対象となりますか？

A3 雑所得と扱われるので、所得税・住民税の課税の対象となり確定申告が必要となります。

今後の予定等



【今後の予定】

4/14（木）採択者合同ガイダンス

4/22（金）研究計画書提出期限

（次世代プログラムのマルチラボ実施は別途開始・終了届提出）

4/22（金）振込口座登録依頼書提出期限

3月頃 定例シンポジウム（年度末報告会）

3月下旬 研究報告書提出（最終年度の学生）

4月上旬頃 研究報告書（および次年度の研究計画書）提出（最終年度以外の学生）

【問い合わせ先】

新潟大学次世代研究者挑戦的研究プログラム事務局（学務部教務課大学院支援係）

E-mail: nu-jisedai@gs.niigata-u.ac.jp

（PhDリサーチサポート室（メンター室）への相談も当面はこちらへ）

新潟大学フェロースhip事務局（PhDリクルート室・学務部教務課大学院支援係）

E-mail: fellowship@gs.niigata-u.ac.jp

PhDリクルート室HPでも今後情報を発信していきます。

<https://www.phd.niigata-u.ac.jp/student/fellowship/>